

釜めしパワーで峠を攻略

木村佳司

碓氷峠・天下の難所。アプト式走法と釜めしパワーで攻略する。

第 27 回東大 OLK 大会
2005 年 6 月 5 日 (日) 群馬県松井田町



アプト走法・釜めしパワー

群馬県から長野県の軽井沢に抜ける碓氷峠のふもと。厳しい登りが名物だ。先人たちはこれを克服するためにさまざまな努力をしてきた。

今日のレースではアプト式走法で碓氷を克服するしかあるまい。足のギアをがっちり地面に組み合わせ力強く登るのだ。これを支えるのは横川名物・釜めしパワーだ。そして気合だ。

コースは尾根沿いに設定されたせいかわそれほど厳しい印象はない。初夏でも通行可能度の良い森。全力で突っ込むに足る正確で読み易い地図。競技の一瞬一瞬に集中できる満足感。爽やかな新緑の中、噴出す汗が心地よい。

フィニッシュに飛び込み、しばらくすると暫定成績表とラップ表がフィニッシュ地点で配布される。これはいい。「あの区間あれだけ走ってもトップまでは差があるのか、おっ思わぬ区間でトップラップを奪っている」・・・努力と結果がすぐにフィードバックされる。これには参加者も大満足。

成績速報とラップ表を手を、フィニッシュから軽く走ればいつのまにか会場だ。

個人的には最終 フィニッシュで最速ラップが取れたことが嬉しかった。

素晴らしいぞ東大大会

素晴らしく満足。これが今回の東大 OLK 大会に参加した印象だ。

毎年梅雨のはじめに開催される東大 OLK 大会には、いつも天気不安がつきまとう。今回も短時間の激しい雷雨に見舞われたが、それも一瞬。多くの参加者は爽やかな一日を満喫した。

実際のところ、今回の大会のレイアウトはかなり複雑なものだった。駐車場から会場までのバス輸送にはじまり、会場からスタートまでの長い誘導。フィニッシュから会場までの長い誘導。

しかし参加者にその負担を感じさせない工夫と環境があった。

スタートまでには飲料の携帯が認められていた。参加者本位の配慮だ。レース中の給水所は絶妙な位置。フィニッシュから会場までの間にはおいしい湧水があった。うーん峠の恵み。

会場に戻るとスタート前に注文しておいた「峠の釜めし」に舌鼓。

大会後には聖地「碓氷鉄道文化むら」へ。会場からは近い。

仕上げは「峠の湯」。今日のレースを思い出しつつ露天風呂で碓氷峠の夕暮れを眺める贅沢。

いろいろと楽しい事はあったが、ナント言っても運営している東大 OLK メンバー笑顔がこの大会を印象づけたと言っても過言ではないだろう。

素晴らしい競技環境と周辺の満足度があれば、難しいレイアウトや成績処理システムのトラブルも気にならない。



会場で釜めし販売に行列。
碓氷峠といえばやっぱりコレでしょう。

鹿島田・田島が優勝

さて、世界選手権前ということで選手権クラスにも注目が集まる。

男子は横一線の戦いの中、鹿島田が接戦を制した。ベテランらしくミスをも最小限に抑えたレース運びで粘り勝ちした。女子は田島利佳が接戦を制した。

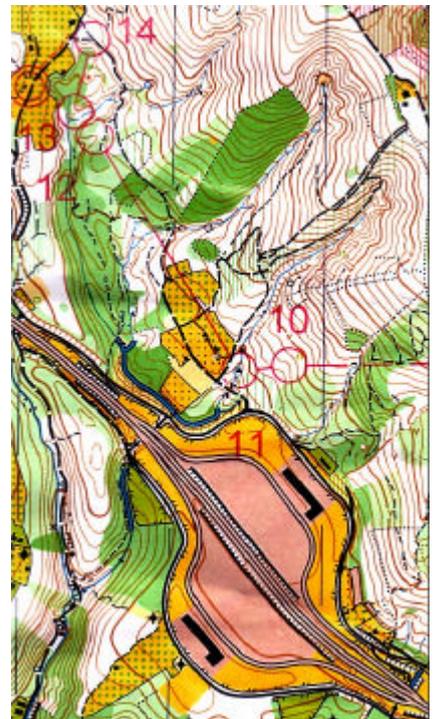
世界選手権の女子ロング競技出場が内定している番場洋子・元木友子は男子 ME コースに挑戦した。しかしながらスタートが遅かったため雷雨の直撃に遭い、一時的にレースを中断して雷から避難したようだ。

ME

| | | |
|---------|---------|--------|
| 1 鹿島田浩二 | 1:09:33 | 渋谷で走る会 |
| 2 高橋善徳 | 1:10:10 | ときわ走林会 |
| 3 松澤俊行 | 1:10:49 | 三河 OLC |

WE

| | | |
|---------|---------|----------|
| 1 田島利佳 | 1:10:02 | みちの会 |
| 2 落合志保子 | 1:10:24 | OLC ルーパー |
| 3 金子恵美 | 1:12:11 | 杏友会 |



トレインは横川サービスエリアのすぐ横
(木村佳司)